

事業名 CD		総合運動場管理事業
細分化した事業名		総合運動場管理事業
事業担当課室 CD		教育課
		整理コート*

〈事務事業の位置づけ〉

第6次長期総合計画での目的体系	大項目	魅力あるまちづくり	
	中項目	いつまでも生きがいを持って暮らせるまちづくり	
	小項目	スポーツ活動の推進	
関連する個別計画等	0	根拠条例等	韮崎市都市公園設置、管理及び使用料条例
関連する事業	0		

〈事務事業の概要〉

事業の目的 (何のためにするのか)	生涯スポーツ振興を以って市民が健やかで、活力あるまちづくりを図る。
事業の対象 (誰・何を対象にするか)	生涯スポーツ振興の拠点として適切な環境を提供する。
これまでの改善経過	耐震強度不足及び照明設備に使用されており処理期限付きのPCB対応などの検討、必要に応じた修繕の実施
事業の手段 (どんなやり方(手法)で)	<p>〈実施・運営方法〉 <input checked="" type="checkbox"/>市 <input type="checkbox"/>委託 <input type="checkbox"/>補助金 <input type="checkbox"/>その他()</p> <p>既存施設については適切なスポーツ環境を提供できるよう対応するとともに、組織内において総合的な体育施設の展望を検討していく。</p>
事業の成果 (どのような状態にしたいのか) (どのような効果を得るのか)	市民のスポーツ環境の整備と長期的な体育施設への展開。

〈投入費用及び従事職員の推移〉

		20年度	21年度	22年度
A	事業費 (千円)	24,037	19,545	26,331
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	市債			
	その他	6,119	5,734	10,768
	一般財源	17,918	13,811	15,563
B	担当職員数(非常勤 職員E) (人)	1.0 1.0	1.0 1.0	1.0 1.0
C	人件費(平均人件費×E) (千円)	6,909	6,823	6,719
D	総事業費(A+C) (千円)	30,946	26,368	33,050
*参考	H22)市民1人当りの事業コスト	1,033 円	H22)市民1人当りの行政サービス費用	599,027 円

注1)担当職員数には、1年間に当該事業に携わった職員数(職員と非常勤嘱託職員を区分)を他事業と按分して記載してあります。

注2)平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した、20年度(6,909千円)、21年度(6,823千円)、22年度(6,719千円)を使用しています。

注3)一般財源とは用途の制限のない財源で、市税(市民税・固定資産税など)、地方交付税(市町村均衡を図るための交付金)などを言います。

〈事業を数字で分析〉 この欄では、事業の目指すべき方向を分りやすく示すため、数値指標を設定し実績数値を記入しています

	指標名	指標の算出方法	実 績 値		
			20 年度	21 年度	22 年度
活動指標	アリーナ利用者数	人	16827	22483	22285
	卓球場利用者数	人	2396	2778	2455
	トレーニング利用者数	人	5626	5336	4052
	プレールーム利用者数	人	17440	17651	19369
	グラウンド利用者数	人	20066	14185	14143
	テニスコート利用者数	人	5296	4136	5964
			(67651)	(66569)	(68268)
成果指標	使用料	千円	6049	4734	3890
	管理経費	千円	24036	19545	26331
効率指標	使用料/利用者数	円	89	71	57
	管理経費/利用者数	円	355	293	386

〈事業を自己評価〉

妥当性 (事業の手段・活動は妥当ですか)	<input type="checkbox"/> A 妥当である <input checked="" type="checkbox"/> B ほぼ妥当である <input type="checkbox"/> C 妥当でない 適切なスポーツ環境の提供		
成果 (意図した成果が上がっていますか)	<input type="checkbox"/> A 上がっている <input type="checkbox"/> B ほぼ上がっている <input checked="" type="checkbox"/> C 上がっていない 相応		
効率性 (コストを見て効率的ですか)	<input type="checkbox"/> A 効率的である <input type="checkbox"/> B ほぼ効率的である <input checked="" type="checkbox"/> C 効率的でない 基本機能保守を主眼に置き、効率的な管理を行う。		
総合評価	<input type="checkbox"/> A 期待以上に達成 <input type="checkbox"/> B 期待どおりに達成 <input checked="" type="checkbox"/> C 期待以下の達成		
今後の事業展開	<input type="checkbox"/> 重点化（コストを集中的に投入する） <input checked="" type="checkbox"/> 手段の改善（実施主体や実施の手段を代える） <input type="checkbox"/> 効率化（結果単位あたりのコストを下げる） <input type="checkbox"/> 簡素化（事業の規模や内容を縮小する） <input type="checkbox"/> 統廃合（他の事業と統合する、または廃止する） <input type="checkbox"/> 現行どおり		
改善・改革案	改善・改革の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか）		
	(1) 中長期的 体育館改修（補強または新築） 夜間照明改修	(2)24 年度 適宜対応 体育施設管理計画検討	(3)23 年度 適宜対応 体育施設計画検討（組織内）
	22 年度の改善計画 今後、体育施設の整備について検討を行うため修繕及び機器整備などにより利用者の環境整備を図る。		
22 年度の改善結果 修繕等、若干の不足が生じるも今後も継続。			
市民（地域）や民間、他官庁との役割分担（市民との協働の視点などから考えられること） 地域体育館及びスポーツ広場とも施設老朽化が著しく、地域管理など費用対効果を考慮し今後の管理手法を検討する。			
課長所見	市営総合運動場の管理については老朽化が著しいため積極的な投資は控えなければならないが、市民のスポーツ環境維持は必須である。既存の施設の対応年数等、念頭に総合的な見地から検討が必要。		